

No.1 創刊1号 2001年5月発行

淀川水系 流域委員会 淀川部会ニュース

<http://www.yodoriver.org>

淀川水系流域委員会 淀川部会ニュース No.1

2001年5月発行

【編集・発行】淀川水系流域委員会

【連絡先】淀川水系流域委員会 庶務

株式会社 三菱総合研究所 関西研究センター

研究員：新田、恩地、柴崎、原

事務担当：安達、安藤、北林

〒530-0003 大阪市北区堂島2-2-2(近鉄堂島ビル7F)

TEL:(06)6341-5983 FAX:(06)6341-5984

E mail:k-kim@mri.co.jp

流域委員会ホームページアドレス

<http://www.yodoriver.org>

CONTENTS

第1回淀川部会の内容	P.1
第1回淀川部会の当日配布資料より	P.3
第2回部会(現地視察)開催のお知らせ	P.8
第3回委員会開催のお知らせ	P.8
淀川水系流域委員会について	P.9
淀川部会委員リスト	P.11
当日資料の閲覧・入手方法	P.12

平成12年5月9日(水) 第1回淀川部会が開かれました。



【ウェスティンホテル大阪「ソノラ」にて】

このニュースレターは以下の機関でも配布しています。

国土交通省 近畿地方整備局 / 淀川工事事務所 / 琵琶湖工事事務所 / 大戸川ダム工事事務所 / 淀川ダム統管理事務所 / 猪名川工事事務所 / 猪名川総合開発工事事務所 / 木津川上流工事事務所 / 水資源開発公団 関西支社 / 滋賀県 土木交通部河港課 / 京都府 土木建築部河川課 / 大阪府 土木部河川課 / 兵庫県 土木部河川課 / 奈良県 土木部河川課 / 三重県 伊賀県民局

ニュースレターを追加でご希望の方は、淀川水系流域委員会庶務までお問い合わせください。(希望部数が多い場合は、費用をご負担いただくことがありますので、予めご了承ください。)

第1回淀川部会の内容

19名の委員(淀川部会委員18名と他部会委員1名)が出席し、審議が行われました。部会では淀川水系(淀川・桂川・木津川)の現状把握を行うため、河川管理者から説明があり、委員との質疑応答が行われました。また、委員会・部会の位置づけについて説明が行われ、今後の淀川部会の進め方についても審議が行われました。

*第1回淀川部会には、部会長からの依頼により、琵琶湖部会の倉田 亨委員(近畿大学名誉教授)が出席されました。

第1回淀川部会 審議骨子

1. 部会長からの説明、要望

今後の部会議では、委員が議論しやすい雰囲気をつくれるよう庶務と検討する。委員会と部会の運営は、従来にない方式を目指しているため、手探りの部分が多い。わからない部分については、委員全員で解決策を模索していく。庶務は、委員会や部会の下で動く立場にある。委員は、庶務からの問いかけを待つのではなく、主体的に活動して欲しい。他部会の委員の出席を部会長が依頼することもある。(本日は、琵琶湖部会の倉田委員が、部会長依頼によりご出席)委員全員が参加して意見が交換できるよう、できるだけ平易な言葉を使って議論するようにしたい。

2. 河川管理者からの資料説明

次回予定されている現地視察に向けた最低限の予備知識を得るための資料として、河川管理者より、淀川本川の現状(流域の現況、堤防の強さ、河道の容量など)について説明
説明事項は、以下の通り
- 淀川水系を取り巻く社会環境等
- 河道等の整備状況
- 現状(ダム・河道整備状況)で大雨が降ったときに想定される洪水量
- 越水破堤、浸透・洗掘により破堤が生じる可能性のある区間
- 高潮・津波の現状
- 堤防の耐震対策

3. 部会で出された主な意見

直轄管理区間が基本となっているが、市との連携など対象を広く考えるべき。(委員)
直轄区間以外にも目を向けることは重要であり、今後の具体の議論の中で考えたい。(部会長)
委員会から具体の審議指示が出ていれば教えて欲しい。流域の中で琵琶湖と淀川を切り離して考えるのは無理がある。住民の捉え方について説明して欲しい。(委員)
委員会から具体の審議指示は出ていない。河川整備計画案をつくる段階で、流域委員会での議論を取り入れていくのが、この流域委員会の特徴。委員が意見を述べるためにも、まず淀川水系の現状についての共通認識を持つことが重要であると第2回委員会で合意されている。(部会長)
準備会議の議論をもとに、淀川部会の対象は、瀬田川(洗堰から下流)、宇治川、

桂川、木津川としている。治水では、琵琶湖と淀川を切り離すことは可能だが、利水等については部会だけで議論するのは難しく、委員会の方で役割分担を考えるなど、柔軟に対応してもらいたいと思っている。(河川管理者)
住民は、流域住民(1,100万人)、淀川の水を飲んでいる人(1,700万人)、その他の人など、様々な範囲が考えられる。一定の枠は嵌めていない。(河川管理者)
河川容量を堤防満水とした前提での説明では、下流側の堤防が安全という印象を持たれるので留意してもらいたい。(委員)
事前配布資料は当日議論になるところを中心にコンパクトなものにして欲しい。パワーポイントをそのまま資料にする必要はないと思う。今日見せられたパワーポイントでない写真やグラフなどが、自分としては役に立った。(委員)
河川管理者の情報をできるだけ見せて欲しいとの要請に応えた。ホームページなどで資料を公開するためには、パワーポイントなどの電子データ化は必要と思っている。(河川管理者)

4. 決定事項

当面の部会の進め方は資料2の通りとし、その後の進め方は今後議論する。
原則として、部会は大坂駅周辺の一定の場所で開催する。
次回部会(現地視察)は6月2日(土)に開催する。視察コースは、河川管理者からの提案に沿って、部会長、部会長代理、河川管理者、庶務で決定し、後日委員に連絡する。

配布資料リスト

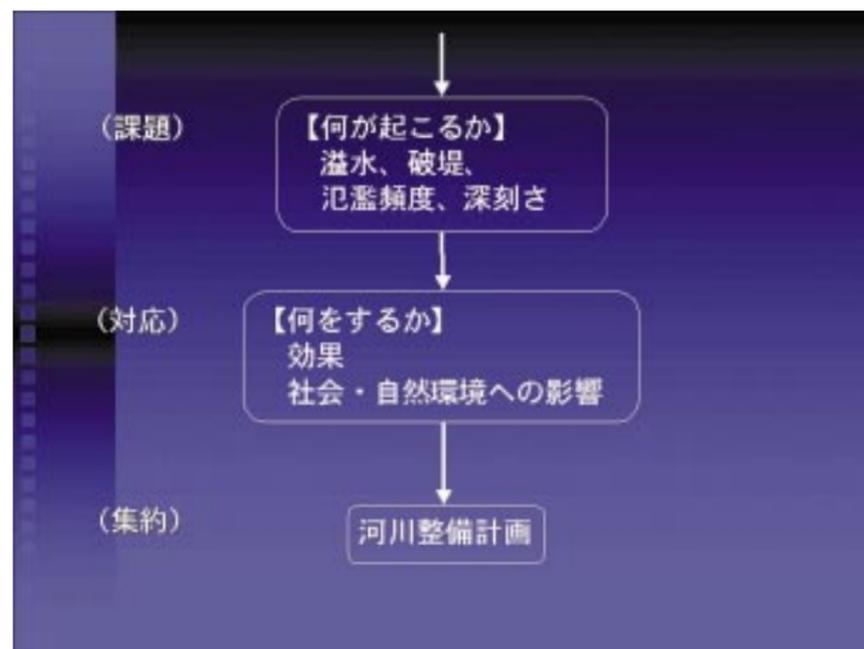
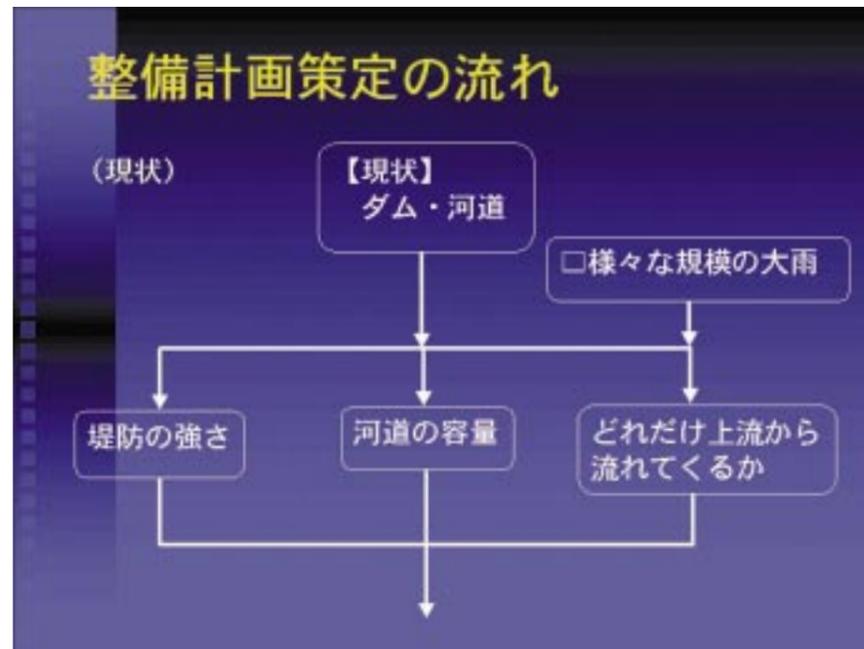
資料名		作成主体	ボリューム (枚数)
議事次第		庶務	A4(1)
資料1-1	委員会、部会の位置づけ等	庶務	A4(7)
資料1-2	淀川水系流域委員会規約	庶務	A4(1)
資料2	当面の部会の進め方	庶務	A4(約450)
資料3	淀川水系の現状説明	河川管理者	A4(1)
資料3別冊	淀川水系流域委員会淀川部会現地視察行程案	河川管理者	A4(5)
資料3別冊補足	第2回淀川部会(現地視察)への出欠状況	庶務	A4(1)
資料4-1	淀川水系流域委員会における庶務の不手際の原因と今後の対応について	庶務	A4(4) A4(2)
資料4-2	会議、運営のルール等について	庶務	A4(2)
参考資料1	淀川水系流域委員会委員名簿	庶務	A4(5)
参考資料2	委員および一般からの意見	庶務	A4(4)
参考資料3	庶務とのやりとり記録	庶務	6枚
河川環境情報図(淀川・宇治川・桂川・木津川下流・木津川上流)		河川管理者	2枚
河川環境情報図(瀬田川・天ヶ瀬ダム)		河川管理者	

紙面の都合上、資料内容は省略しています。資料をご覧になりたい方はP.12の「当日資料の閲覧、入手方法」をご覧ください。ただし、「河川環境情報図」は閲覧のみ可能です。

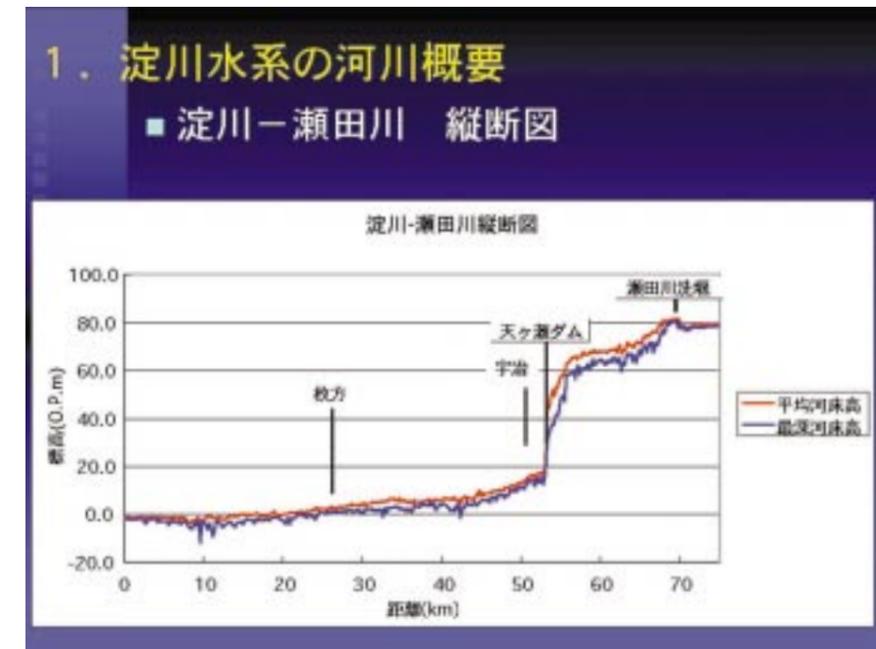
第1回淀川部会の当日配布資料より

「淀川(宇治川・瀬田川)・桂川・木津川の現状説明(資料3)」より抜粋

「整備計画策定の流れ」



「淀川水系の河川概要」



治水 「河道等の整備状況」



治水 「大雨が降った時に想定される洪水量」

1. 降雨量と流量との関係

1.1 基準となる洪水の選定

整備計画の基準となる洪水型
⇒昭和28年9月型

- ・既往の洪水のうち被害が最大であった
- ・現在襲来した場合に最大の流量となる洪水

治水 「越水破堤、浸透・洗掘により破堤が生じる可能性のある区間」

1. 破堤条件の設定

1.1 破堤の考え方

■ 浸透による破堤

1 洪水が長期にわたると、河川の水が堤防にしみ込む。

2 堤防に水がしみ出で、もろくなった堤防がくずれはじめる。

3 堤防を押し潰して、水が一気に街側に流れ出る。

1. 破堤条件の設定

1.1 破堤の考え方・洪水の浸透

外力条件による評価

- ・平均動水勾配
- ・高水位継続時間
- ・築堤履歴

土質条件に基づく評価

- ・堤体
- ・基礎地盤
- ・治水地形分類

評価ランク2 a,b,c,d 評価ランク1 a,b,c,d

安全性評価ランク

評価ランク=A,B 評価ランク=C,D

破堤の可能性が低い 破堤の可能性が高い

*斜面浸透、基盤漏水は考慮していない

1. 破堤条件の設定

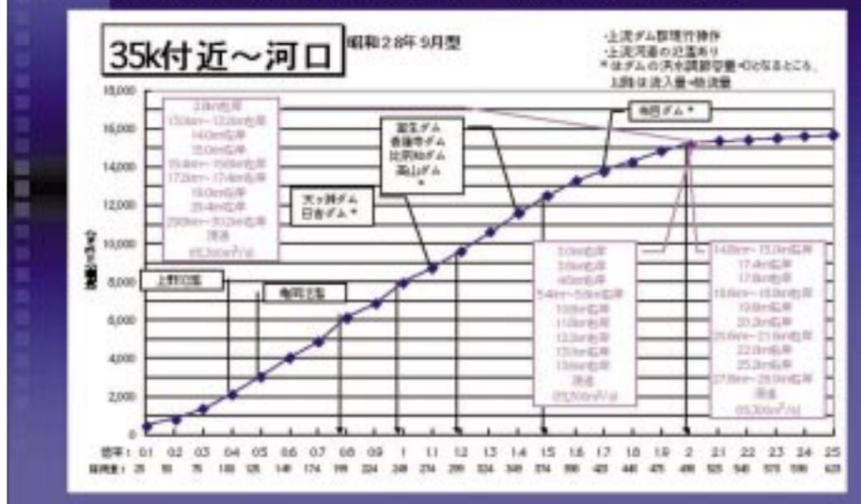
1.1 破堤の考え方

・安全性の評価ランク

		(1)堤体および基礎地盤の土質条件による評価			
		a	b	c	d
(2)外力条件による評価	a	A	A	B	C
	b	A	B	B	C
	c	B	C	C	D
	d	C	C	D	D

1. 破堤条件の設定

1.6 浸透が想定される箇所（淀川）2.0倍



第2回部会(現地視察)開催のお知らせ

第2回部会は、委員の方が現場を見て現状認識を深めるために、流域の現地視察をすることになっております。なお、一般の方は同行できませんので予めご了承下さい。

部会へのご意見等をいただける方は、電子メールまたはFAXでお送りください(別紙のFAX送信票をお使いください)。

- 第2回 淀川部会 (現地視察)**
 日時：平成13年6月2日(土) 9:30～18:00(予定)
 場所：淀川本川の上流から下流まで(予定)
- 第2回 猪名川部会 (現地視察)**
 日時：平成13年6月7日(木) 13:00～17:00(予定)
 場所：猪名川の上流から下流まで(予定)
- 第2回 琵琶湖部会 (現地視察)**
 日時：平成13年6月8日(金) 9:30～17:00(予定)
 場所：琵琶湖湖南の主要河川等(予定)

注：現地視察のルートは、決まり次第第HP等でお知らせします。なお、一般の方の現場での傍聴については、現在検討中です。

第3回委員会開催のお知らせ

第3回委員会の傍聴をご希望の方、もしくはご意見等をいただける方は、電子メールまたはFAXでお申込みください(別紙もしくはのFAX送信票をお使いください)。

- 第3回 委員会**
 日時：平成13年6月18日(月) 18:00～20:00
 場所：新・都ホテル 地階「陽明殿」
 京都市南区京都駅八条口
 TEL075-351-0111(代)
 *新幹線、JR、近鉄京都駅(八条口)から徒歩2分

今後の会議開催日程のお知らせについて
 会議の開催日程が正式に決まりましたら、最新のニュースレターやホームページ等で、随時ご報告いたします。

治水 「堤防の耐震対策」

1. 耐震対策の現状

1.2 復旧状況



淀川水系流域委員会について

設置の目的

平成9年の河川法改正に伴い、これまでの「治水」「利水」に加えて「河川環境の整備と保全」が法の目的に追加されました。また、これまでの「工事実施基本計画」に代わって、長期的な河川整備の基本となるべき方針を示す「河川整備基本方針」と、今後20～30年間の具体的な河川整備の内容を示す「河川整備計画」が策定されることになり、後者については、地方公共団体の長、地域住民等の意見を反映する手続きが導入されました。

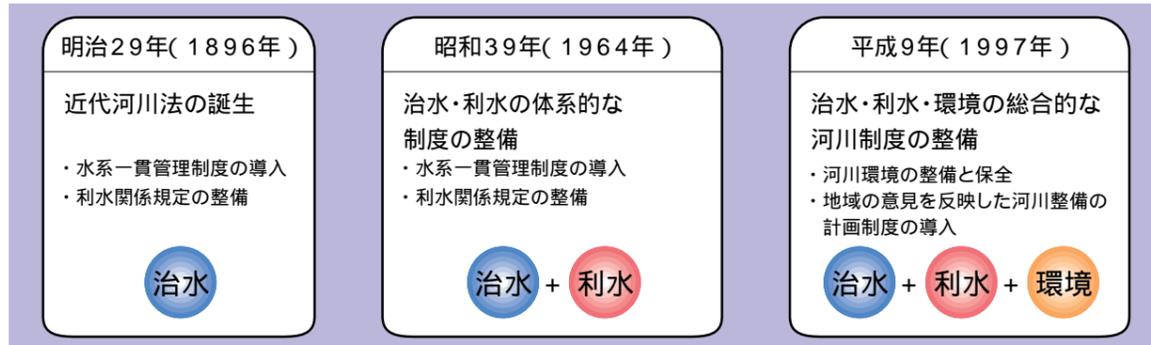
「淀川水系流域委員会」(以下流域委員会)は、淀川水系において「河川整備計画」について学識経験を有する者の意見を聴く場として、平成13年2月1日に近畿地方整備局によって設置されました。

流域委員会の役割

淀川水系流域委員会は主に次のような役割を持っています

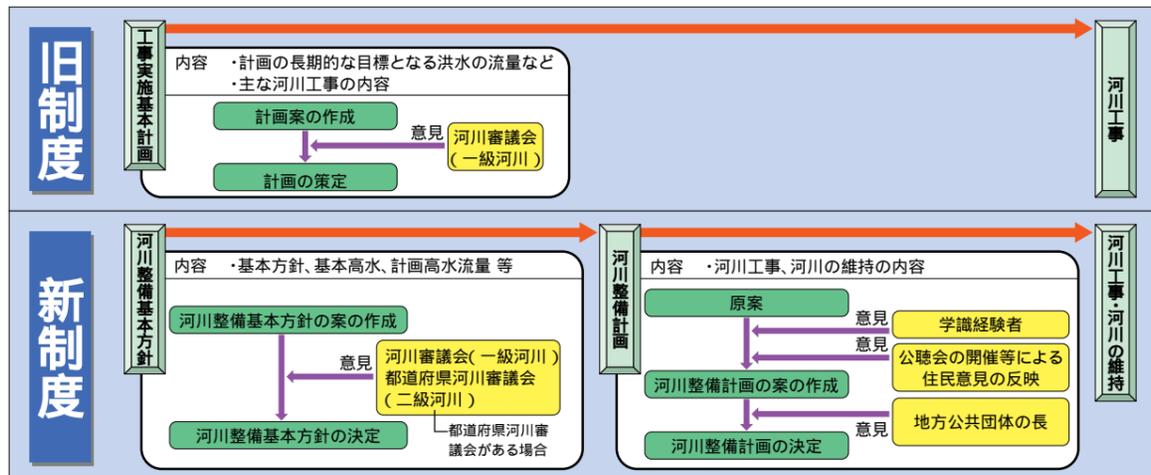
近畿地方整備局が策定する「淀川水系河川整備計画(直轄管理区間を基本)」に対して、意見を述べる。
関係住民の意見の反映方法について意見を述べる。

図 河川法改正の流れ



【近畿地方整備局資料より】

図 新しい河川整備の計画制度



【近畿地方整備局資料より】

流域委員会の構成

流域委員会は、次のような構成になっています。

- ・委員会と3つの部会(琵琶湖、淀川、猪名川)から構成されています。
- ・委員会委員の多くは部会委員を兼務しています。
- ・委員は、治水、利水、環境、人文、その他の幅広い分野から選出されているとともに、地域の特性に詳しい委員が委員会と各々の部会に4名以上選出されています。
- ・委員選出にあたっては、新聞・ホームページ・ニュースター等での公募も行われました。

図 流域委員会委員の構成



図 淀川水系流域委員会と部会



【近畿地方整備局資料より】

流域委員会と準備会議

淀川水系流域委員会に先立ち、平成12年7月、淀川水系流域委員会準備会議(以下準備会議)が近畿地方建設局(現近畿地方整備局)によって設置されました。準備会議は、約半年にわたって、流域委員会のあり方(組織構成、委員、情報公開、住民意見の聴取方法など)について審議を行い、平成13年1月に答申を行いました。

淀川部会委員リスト

(五十音順、敬称略)

No.	氏名	対象分野	所属等	備考(兼任)
1	有馬 忠雄	植物	大阪府 自然環境保全指導員	-
2	今本 博健	洪水防衛(河川工学、水理学)	京都大学 名誉教授	委員会
3	大手 桂二	砂防	京都府立大学 名誉教授	-
4	荻野 芳彦	農業関係(農業水利)	大阪府立大学大学院農学生命科学研究科 教授	-
5	川上 聡	地域の特性に詳しい委員 (水環境保全ネットワーク・市民活動)	川の会・名張 事務局、近畿水の塾幹事	委員会
6	紀平 肇	動物	清風学園 講師	-
7	小竹 武	地域の特性に詳しい委員	大阪市立十三中学校校医、 小竹医院 院長、淀川ネイチャークラブ 会長	-
8	田中 真澄	地域の特性に詳しい委員(自然哲学)	岩屋山志明院 住職、京都水と緑をまもる連 絡会 共同代表、市民投票の会 共同代表	-
9	谷田 一三	動物(河川生態学、昆虫分類系統学)	大阪府立大学総合科学部 教授	委員会
10	塚本 明正	地域の特性に詳しい委員	川とまちのフォーラム・京都 世話役	委員会
11	寺田 武彦	法律	弁護士、日弁連公害対策・環境保全委員会元委員長	委員会
12	長田 芳和	動物	大阪教育大学教育学部 教授	-
13	原田 泰志	漁業関係	三重大学生物資源学部 助教授	-
14	横村 久子	地域・まちづくり(地域計画・景観文化論)	京都女子大学現代社会学部 教授 (社)なら女性フォーラム 副理事長	-
15	榊屋 正	地域の特性に詳しい委員	地球環境関西フォーラム 事務総長	委員会
16	山岸 哲	動物	京都大学大学院理学研究科 教授	-
17	山本 範子	地域の特性に詳しい委員	流域住民	-
18	和田 英太郎	水質(同位体生態学)	総合地球環境学研究所 教授、 京都大学生態学研究センター 教授	-
19	渡辺 賢二	水環境	上桂川漁業協同組合 事務局長	-

注:対象分野欄の()は委員の専門を示しています。

当日資料の閲覧・入手方法

紙面の都合上、ニュースレターでは資料内容を省略していますが、以下の方法で資料を閲覧、または入手することができます。

ホームページ

委員会で使用した資料は、ホームページで公開しております。アドレスは以下の通りです。

<http://www.yodoriver.org>



閲覧

資料の閲覧を希望される方は、庶務までご連絡ください。

郵送

郵送による資料の送付を希望される方には、送料実費にて承っております(希望部数が多い場合には、コピー代も実費でいただくことがありますので、予めご了承ください)。

ご希望の方は、別紙の「FAX送信票」にご記入のうえ、FAXまたは郵送で庶務までお申し込みください。

別紙

淀川水系流域委員会
ご意見用FAX送信票

FAX:06 - 6341 - 5984

淀川水系流域委員会 庶務宛
((株)三菱総合研究所 関西研究センター 安達、安藤、北林)

1. 淀川水系流域委員会へのご意見をご記入ください。

寄せられたご意見は公表させていただく場合がございます。公表に支障がある場合にはその旨も併せてご記入いただきますよう、お願いいたします。
できましたら、ご意見の宛先もご記入ください(委員会、部会など)。

への意見

2 差しつかえなければ下記にご記入下さい。

団体・会社名()
ご住所(〒)
TEL()
お名前()

別紙

淀川水系流域委員会傍聴申込
および資料請求用FAX送信票

FAX:06 - 6341 - 5984

淀川水系流域委員会 庶務宛
((株)三菱総合研究所 関西研究センター 安達、安藤、北林)

1. 淀川水系流域委員会 第3回委員会への傍聴を希望されますか。

・はい ・いいえ

2. 第1回淀川部会の資料郵送を希望される方は、必要な資料の部数を、下記リストにご記入下さい。

希望部数が多い場合は、費用をご負担いただくことがありますので、予めご了承ください。

資料名		部数
議事次第		
資料1-1	委員会、部会の位置づけ等	
資料1-2	淀川水系流域委員会規約	
資料2	当面の部会の進め方	
資料3	淀川水系の現状説明	
資料3別冊	淀川水系流域委員会淀川部会現地視察行程案	
資料3別冊補足	第2回淀川部会(現地視察)への出欠状況	
資料4-1	淀川水系流域委員会における庶務の不手際の原因と今後の対応について	
資料4-2	会議、運営のルール等について	
参考資料1	淀川水系流域委員会委員名簿	
参考資料2	委員および一般からの意見	
参考資料3	庶務とのやりとり記録	

3. 下記にご記入下さい。(必ず ~ 全てにご記入下さい)

団体・会社名()
ご住所(〒)
TEL()
お名前(複数名での傍聴を申し込まれる場合には、全ての方のお名前をお書き下さい。)